

学校 通信  3-9	 かけはし	教育 目標 学び合う子 つながり、 支え合う子 たくましい子	武蔵村山市立 第九小学校 校長 村山 博子 令和4年1月11日
---------------------	--	---	--

「〇学期が始まります」

校長 村山 博子



保護者、地域の皆様には、穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

写真は九小の恒例となった人文字です。今年のテーマは「虹」です。この写真は 九小ホームページにも掲載しています。どうぞ御覧下さい。

さて、冬休みが終り、新年が明けましたが、この2年あまり続くコロナ渦のため、なかなか元通りの日常に戻らない状態が続いています。デルタ株が落ち着いて、新年は少しずつ元の日常に戻せるのかと思いきや、またもやオミクロン株が・・・

何度もお伝えしているように、九小は「できないことを嘆くのではなく、今できる最善のことを工夫する」方針で、教員も子供達も一人一人が自ら考え、自分にできる精一杯の工夫と取り組みで、この状況を乗り越えていきたいと考えています。子供達にとっては一生に一度しかない、それぞれの学年としての経験をし、できる限りの責任を果たして欲しいと思っています。

先日お渡しした「あゆみ」には子供達の学校での学びの成果が記載されていたことと思います。4月からの新学年に向けた今学期は、各学年のまとめの3学期であると同時に、新学年の準備に向けた〇学期でもあります。できなかったことをそのままにせず、どうすればできるようになるのか、お子さんと確認し、その取り組みを支援してあげて下さい。

また、この機会に改めて、お子さんが日頃どんなことを思い、親の目の届かないところでどんな生活をしているのか、話し合ってみてください。家族の関係を確かなものにして、協力して感染予防に努め、まとめの期間の危機を乗り越えて、子供達にとって、少しでも安全で充実した日々を過ごせるよう心から願っています。

九小は、その時その時で分かる感染症の知見を基に、感染症対策を徹底しながら、子供達にとって大切な学校での教育活動をできる限り継続していくことを目指したいと考えています。今後とも御理解・御協力をお願いいたします。